



地域包括ケアシステムにおける 予防理学療法に関する研究

保健福祉学部 理学療法学科
講師 積山 和加子（つみやま わかこ）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス
Tel 0848-60-1120（代表）

専門分野： 理学療法学

キーワード： 地域包括ケアシステム, 予防理学療法, 内部障害
介護予防, ウィメンズヘルス, ソーシャルメディア

● 現在の研究について

○内部障害に対する予防理学療法の効果検証

内部障害とは様々な疾患により心臓や肺などの内臓機能が障害され、日常生活が制限される障害をいいます。内部障害者は安静による体力の低下に加え、日中の活動量の低下や合併症等により、さらに体力が低下してしまう危険性が指摘されています。そこで、内部障害者でも継続して行える安全で効果的な運動方法を検討しています。

○地域包括ケアシステムにおける介護予防事業の効果検証

近年の介護予防事業では、高齢者同士が互いに支え合う住民主体の地域づくりに取り組む自治体が増えています。中高齢者に対する介護予防に関する評価・運動方法を検討しています。

○基礎的検証に基づくウィメンズヘルス理学療法に関する研究

骨盤底筋群の組織学的解析、不活動や運動が骨盤底筋群に及ぼす影響について基礎研究を行っています。

○医療従事者・学生におけるソーシャルメディアの私的利用に関する研究

ソーシャルメディアの私的利用に関する実態調査を行い、トラブルを予防するための教育内容を検討しています。

● 今後進めていきたい研究について

現在行っている研究については、短期的な効果だけではなく、中長期的な効果についても検証を進めていく予定です。今後も、基礎研究から臨床研究まで、幅広い視野に基づく立場で研究を進めていきたいと考えています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

地域包括ケアシステムの構築に向けて、各自治体では高齢者や障害者の自立支援のための各種事業の見直しや検討を行っています。介護予防分野以外にも、勤労者の労務災害予防や健康増進などの予防分野についても関連する方々と連携して進めたいと考えています。

● これまでの連携実績

○介護予防教室（転倒予防）講師：三原市・尾道市等

○介護予防事業の効果検証：県立広島大学地域戦略協働プロジェクト（尾道市：H28・29年度、庄原市：H30年度）、県立広島大学重点研究事業地域課題解決研究（尾道市：H30年度）

○施設職員対象：労務災害（腰痛）予防研修講師（三原市内介護保険施設）

○新採用リハ職員対象：ソーシャルメディアの利用に関する倫理研修講師（国立病院機構中国四国グループ）

○各専門職・一般市民に対する講演（公社・広島県理学療法士会、尾道市、三原市介護支援専門員連絡協議会、等）